

淑女検定

☑ チャレンジテーマ

盆栽

海外では粋なアートとして知られる「盆栽」。日本では年配男性の趣味というイメージが強いが、小さな木に咲く花や木の実はとても愛らしく、アステン読者の心をぎゅっとつかむに違いない。



問題 1 盆栽はどうやって鑑賞するもの？
正しいものを一つ選んで。

- A. 真上から眺める
- B. 近付いて眺める
- C. 真正面から眺める
- D. 360度ぐると眺める

問題 2 盆栽はなぜ小さい？

- A. あまり水を与えないから
- B. 小さくなあれと唱えるから
- C. コケが栄養を吸い取るから
- D. 鉢が小さいから



問題 3 ぐにゃりと曲がった盆栽もあるが、
どうやってその形を作る？

- A. 最初から曲がっている
- B. 針金を巻いて形を作る
- C. 片側だけ光を当てる
- D. 手で曲げる

SBS学苑
静岡校

今月の
先生



【ミニ盆栽入門】講師

高梨 益樹 たかなし ますき

全日本小品盆栽協会認定講師

鑑賞の仕方、作り方から身近な素材を使った

入門者向け盆栽を指導

SBS学苑静岡校
INFORMATION

2/12(月・振休)は「健康の日」

～寒さに負けず、
より健康に、美しく！～

運動不足を楽しく解消するエクササイズ
や、美容に役立つツツザなどさまざまな

1日講座や体験講座をご提供します。詳
しくはお問い合わせください。

【お問い合わせ・お申し込み】
Tel.054-282-1191

正解 & 解説

問題 1 → 正解 C

正しい鑑賞方法は真正面から。少し離れたところから全体を眺める。生け花のように作品には正面が決まっているので、裏からは鑑賞しない。腰を下ろして静かに眺めたい。「盆栽＝植物を小さく育てることではありません。どうやったらより作品が美しく見えるか。じっくり来る鉢を選んで、植物の正面を見つけた作品が盆栽。正面をどう見せるかを追い求める“とんがったアート”だと思います」と高梨先生。

問題 2 → 正解 D

地植えすると樹高数十メートルにまで伸びるケヤキやマツも、盆栽の鉢で育てると小さく育つ。大きな木に見えるのに、実際は小さいサイズである「形小相大」が理想とされる。樹高20cm以下の盆栽を「小品盆栽」という。手のひらサイズでありながら、花や実をしっかり付ける盆栽は、何ともかわいらしい。基本は屋外で育てるが、来客時に玄関に飾るのもいい。部屋に持ち込んで作品を愛でながらお酒をたしなむのも、乙な楽しみ方だ。

問題 3 → 正解 B

盆栽に欠かせない道具が針金。1年後、数年後を見据えて「ここを曲げたい」と思った場所に針金を巻いて誘引する。育て始める前に描いたデザインに沿って巻いていく。よく研いだハサミとピンセットも使って、理想の形になるよう日々整えていく。その期間は数年どころか数十年。持ち主より長生きする盆栽も多く、高梨先生は「50年後に誰かの手に渡っているかもしれない、という夢もあるんですよ」と話す。